

いしずえ

学校教育目標

- ・意欲をもち 自主的に学習する生徒
- ・人と郷土を愛し 進んで奉仕する生徒
- ・健康で はつらつとした生徒



＜朝のクリーン活動＞



《小学生との合唱の交流は、とても素晴らしいものでした！》

6月7日（金）開催の合唱コンクールから週が明けた10日（月）、本年度も「合唱による小中交流」を実施しました。これは、本年度より本格実施の「小中一貫教育推進事業」の1つであり、「合唱」により小・中学生の交流を図ることを目的としています。これまでも、本校3年生は、中学校区内の小学校を訪問し、「合唱による小中交流」を行ってきました。



＜合唱の発表＞



＜一緒に手話で合唱＞

当日は、二手に分かれて、国分寺小に3～5組、国分寺東小に1、2組が伺う予定となっていました。あいにくの荒天のため、国分寺東小への訪問は取り止め、全クラスが隣の国分寺小に向かいました。到着後、まず始めに、合唱コンクールで発表した各クラスの合唱曲を披露しました。国分寺小約600名の全校児童が、ほとんど身じろぎもせず熱心に聴き入っている姿に、本校3年生達も、お兄さん・お姉さんの立場から、特に力を込めて歌い上げました。続いて、小・中学生が一緒になって、手話を交えながら歌を歌いました。体育館内に広がる、和やかで温かな雰囲気、生徒達は誰もが、童心に帰って楽しんでいました。最後に、代表児童の方から「お礼の言葉」をいただきましたが、本校生徒達にとっても、大変充実した時間を過ごすことができました。

また、国分寺小だけではなく、国分寺東小で勤務されていた職員の方もおられて、生徒達は、昔お世話になった先生方との再会を懐かしがり、また、喜んでいました。

小中一貫教育は、子供達の「『学び』と『育ち』をつなぐ」ものですが、国分寺中学区においては、伝統の「合唱」が、その大きな手立ての1つとなっているように思います。

《元気よく「おはようございます」！》

6月18日（火）～21日（金）の4日間、本校2年生達は、「小学校へのあいさつ運動交流」に出掛けました。これも、「小中一貫教育推進事業」の1つであり、生徒達は、毎朝、小学校門や昇降口の近くに整列し、登校してくる小学生を相手に、あいさつを呼び掛けました。



＜国分寺小学校＞



＜国分寺東小学校＞

毎日、2年生1クラスずつが担当し、それぞれの生徒が、自分の出身小学校に向かいました。（国分寺西小並びにその他の小学校出身者は国分寺小へ）そして、朝の15分間、学級担任の先生達と一緒に、「おはようございます。」と明るくあいさつを呼び掛けました。それに対し、小学生からも元気の良いあいさつが返されましたが、中には、兄弟姉妹がいたり、近所に住む先輩・後輩同士だったりして、互いに恥ずかしそうにしている場面も見られました。

また、小学校高学年の児童達や先生方、交通指導員の皆様も一緒にあいさつ運動をしてくださり、周囲の雰囲気がとても盛り上がりましたし、また、生徒達の励みともなりました。今年度から始まったばかりの活動ですが、小・中学校にとって共に大変有意義な活動であることが分かりました。これからも、各学校が一体となって、交流活動の充実に向けていきたいと考えています。

なお、中学校3年生については11月中旬、1年生については3月中旬に、この「あいさつ運動交流」の実施を予定しています。

《多くのことを学んだ3日間でした！》

6月25日(火)～27日(木)の2泊3日の日程で、3年生は、関西方面へ修学旅行に行ってきました。毎日生活している家庭や学校、地域から遠く離れ、また、お家の方に見送られ、朝早くJR小金井駅を出発しました。

当日までは、生徒スローガン「Best Smile でいざ出陣 ～ 古都の歴史を 友と学びに ～」の下、

- 1 奈良・京都の文化財や史跡の見学を通して、日本の歴史・伝統・文化について学び、見聞を広めるとともに、国を愛し、優れた文化を継承しようとする心情を養う。
- 2 集団行動・班別活動を通して、規律やマナーを遵守し、自主的、主体的に行動しようとする心情や態度を育てる。
- 3 生徒と教師、生徒相互の人間関係を深め、中学校生活での良い思い出を作る。

といったねらいを立て、班別活動やクラス別見学のルートを検討したり、見学地の事前学習や各自係活動の事前準備に取り組んできました。

《第1日》

東北・東海道新幹線を利用し、10時過ぎにJR京都駅に着きました。そこからは、クラスごとに借り上げバスに乗り込み、まずは、「平等院」(宇治市)見学に向かいました。続いて、奈良市へ移動し、「法隆寺」を見学しました。社会や美術の授業で見たり聞いたりしたことのある建物や仏像等が次々と現れ、生徒達は大変熱心に見入っていました。最後の見学地は、「奈良公園(東大寺)」でした。「奈良の大仏(盧舎那仏像)」の巨大さに改めて感心するとともに、自由時間には、園内の鹿にせんべいをあげたりしました。また、日中、天候に恵まれ、気温が高かったこともあり、頻りに飲み物を購入し水分補給に努める生徒達の姿が目立ちました。



《奈良公園にて》

見学終了後は、京都市内の旅館へと戻り、「和本作り」の体験活動に取り組みました。講師の先生の教えを忠実に守りながら、ほぼ全員が、所定の時間内に作り終えることができました。この和本は、後日作成する「修学旅行記」に使用することとなっています。

《第2日》

3、4名の班ごとに1台のタクシーに乗り込み、京都市内の寺社仏閣を見て回る「班別活動」を行いました。事前に学校や旅行業者のチェックを受けながら、見て回るコースや昼食を食べたり土産物を買ったりする場所は自分達で決めました。約8時間の日程を予定し、緊急時の連絡体制もしっかりと準備していましたが、特に大きなトラブルもなく、全ての班が予定された時間内に戻ってきました。タクシーで移動する時間以外は、ほぼ1日歩き回っていたこともあり、タクシーから降りてくる生徒達の表情には疲れの色も色濃く見られましたが、両手には土産物の袋をたくさんぶら下げ、大変満足そうに帰ってきました。途中で班員同士が仲違いをすることもなく、協力しながら「班別活動」をやり終えることができました。



《清水坂にて》

夜には、旅館の近くにある「源光庵」に歩いて移動し、約1時間の「座禅体験」に臨みました。ご住職からは、「座禅のしかた」をはじめ、「心構えの在り方」等のお話をいただきました。その一方で、会場到着後、静粛に待っている生徒達に対して、「座禅に向かう心構えができています。中々できるものではない。」といったお誉めの言葉もいただきました。

《第3日》

クラスごとに借り上げバスに乗り込み、別々のコースを見て回る「クラス別見学」を行いました。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1・2組 和菓子作り体験⇒北野天満宮 | 3組 (着付け体験) 北野天満宮⇒建仁寺 |
| 4組 天竜寺⇒北野天満宮⇒二条城 | 5組 八坂神社⇒清水寺 |

そして、JR京都駅近くの昼食会場で、全ての生徒達が合流した後、14時過ぎの東海道新幹線に乗り、帰路に着きました。東京駅到着後は、4台の借り上げバスに分乗し、首都高速道路や東北自動車道を経由しながら学校へと向かいました。

この3日間、生徒達は、数々の貴重な経験を積むことができました。また、大きく体調を崩したり怪我をしたりもせず、友人たちと協力しながら落ち着いた生活を送ることができました。それらの成果を今後の学校生活にどのように生かしていくかが、これからの課題と考えます。保護者の皆様には、大変お世話になりました。誠にありがとうございました。



《建仁寺にて》